

陳情	受理番号	151	受理年月日	令和6年6月21日	付託委員会	厚生経済
件名	泊魚市場開設者に市が担う陳情について					

泊魚市場開設者に市が担う陳情について

那覇市議会におかれましては日頃より泊漁港における水産業の発展、並びに水産物流通販売促進へのご理解と多大なるご支援に對し心より感謝申し上げます。

さて、那覇市及び那覇市議会におかれましては令和5年4月から稼働した「砕氷機」及び11月にオープンした「なはまぐる市場」また、12月に完了した「セリ床面拡張工事」など多くの財政的支援をして頂いた事や、様々な課題に對し、その解決に向けて共に考え、そして連携して頂いている事に、私共をはじめ、多くの関係者は感謝しているところであります。

現在、泊漁港においては那覇地区漁業協同組合が開設者として、

泊魚市場に日々水揚げされる水産物をセリに掛け、仲買人を通して消費者の下に届けている所ではありますが、去る令和4年10月には沖縄県漁業協同組合連合会が営んでいた市場事業と、その他関連する事業を糸満市へ移転するといった動きがあり、那覇市水産業を取り巻く環境が大きく変化している所でもあります。

その糸満漁港では高度衛生管理型荷捌施設が整備されており、消費者が求める食の安心安全を実現できる市場として、その役割を担っているところでありますが、その開設者としては沖縄県水産公社が担っております。

また、沖縄県漁業協同組合連合会と糸満漁業協同組合が有限責任事業組合（LLP）を設立し、市場運営事業者として日々の水産物を流通させている所でもあります。

沖縄県水産公社の実績（ソデイカの数量及び売上は含まない）は、

県漁連	令和3年度	数量	2,847,164.4 kg	売上	1,915,732,800 円（税抜）
	令和4年度	数量	3,301,663.3 kg	売上	2,714,694,618 円（税抜）
	令和5年度	数量	2,909,763.3 kg	売上	2,101,224,276 円（税抜）

となっております。

一方、泊漁市場においては半世紀近く施設の更新が行われていない事から、老朽化は著しく、また陳列面積が狭隘の為、漁業者は水揚の順番待ちを強いられ、円滑な水揚げにも支障を及ぼしている状況があります。その様な中、泊魚市場の実績は

令和3年度	数量	3,657,285.8 kg	売上	2,226,660,545（税抜）
令和4年度	数量	3,836,802.9 kg	売上	3,077,892,095（税抜）
令和5年度	数量	4,797,211.9 kg	売上	3,268,547,156（税抜）

（ソデイカの数量及び売上金額は含まない）

となっております、過去3年間の取扱数量や売上は増加しており、5千トンを超えるのは間近であります。

ご案内の通り、令和5年12月に那覇市のご支援により市場床面積を約500㎡拡張する工事を行い整備されましたが、年間5千トンを超える水揚量を受け入れるとなると、現在の荷捌施設では円滑な水揚げが困難になる恐れがあります。

近年、全国各地の荷捌施設においては至上命令として食の安心安全が求められ、高度衛生管理型市場は急速に整備されており、その数は増えるばかりである事から、泊魚市場施設の老朽化は食の安心安全と時代ニーズに対応しかねる状況にある、と言わざるを得ません。

しかし、新荷捌施設の建設となると莫大な費用が見込まれており、予想される今後の水揚量が約5千トンを超えるだろうと仮定すると、それに対応する規模の荷捌施設に掛かる建設費用は膨大であり単一漁協が担える訳がありません。

その様な事から、これからの泊魚市場をより安心安全な市場として発展させる為にも那覇市が開設者となり新荷捌施設の建設を行わなければその実現は不可能と考えている所です。

ご承知のとおり、糸満でもそうである様に全国でも地方公共団体が開設者を担っている「地方卸売市場」は数多くあります。

今後とも、私達は那覇市及び近隣の漁業者と共に泊魚市場に水揚げを継続して行きます。

そして、私達那覇地区漁業協同組合は泊魚港の発展においてその牽引者としての役割を発揮し、那覇市水産業のより一層の発展と社会貢献に努めて参る所存であります。

以上の事から、那覇市議会におかれましては「那覇市」が私共が願う開設者になる事について前向きにご検討を頂き、その実現にご尽力を頂きます様切望しております。

また、那覇市が泊漁港関係者による意見交換などを経て、取まとめ
ております泊漁港再整備計画に伴う新荷捌施設の位置確定にもご尽
力頂き、関係者合意の下、計画を迅速に実行して頂きます様
衷心よりお願い申し上げます。